WASON
HQ
1104
J74+

驛遞局認可

明治十九年八月十五日發行

女學雜誌

每月三回發兌
一册正價五錢
一ヶ月十五錢

第三十二號

東京 女學雜誌社

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY

The Women's Magazine

(JOGAKU ZASSHI.)

No. 32. | 第參拾貳號

EDITORIAL: Duty of Women in relation to intemperance and other cognate vices.
By Mrs. M. C. LEAVITT.

MISCELANIES: Women's suffrage; Old-man's talk; A word to sick-nurse.

LEADING ARTICLES: Education of Woman and method of Spreading Christianity. By Prof. M. TOYAMA; A word to husbands. By Mrs. T. NAKAJIMA.

REVIEWS: Mrs. KONDO's "Hizamoto-no-Oshiye."

BIOGRAPHIES:
Life of Florence Nightingale;
Life of Bikojoshi No. 14.

CORRESPONDENCES.

ADVERTISMENT.

●社說　過飲及家内諸不德に對する婦人の義務(二)

●叢話　女子の投票權○をきな演說(第二席)○看病人の心得

●論說　女子の敎育を論じ併て耶蘇敎擴張の法を說く(外山正一君)○世の良人たる者に望む(中島とし子)

●批評　ひざもとのをしへを評す

●佳傳　ナイチンゲールの傳○梅香女史の傳(第十四)

●寄書　足柄山の歌○雨の日の歌

●新報　十六則

●廣告

笑ひ草

●むかし物知りがほするある男ありて云ふやう世の中の事は何ごとも皆な互に糸の如く關はり合ふものなり ある年天然痘いたく流行しけるに其年は鏡の價直大に高うありけり此れ何如なるわけぞと問ふ

一人云ふそはわが顏を鏡にうつし見るにみにくければ此は鏡のあしきゆえならんとて取かえ引かえ買求め色々の鏡を求むさては其價高うなるなり

かの男云ふ考がまだ淺いまづ天然痘流行してあばたの面多くあればかほにとまりたる蚊を叩くに常ならば皆な死ぬべきをあばたの穴にかくるれば十がうちの五つ六つは死なで逃る斯て生き存らふる蚊の數多ければ其產み付る卵も多きゆえにボウフラの生き出ることまた多かるべしボウフラ多きときは金魚の出來高多く其價は低くなるゆえ買求めてもてあそぶ人多くなるべし斯れば金魚を入るゝ硝子の器を作らんとて之に用ゆる硝子いと多ければさては鏡に用ゆる硝子を減じ鏡の價を高ふするなり、世の中の事はかく細かに考へざれば當らず且つ近からぬとの多きものぞと鼻うごめかし乍らかたりぬ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

女學雜誌　第參拾貳號　明治十九年八月十五日

● 社説

○過飲及家内諸不徳に對する婦人の義務（其二）

只今此の所にお出でになるお方に願ひますが何卒婦人の勤むる所ハ勤めて貰ひまして其れがよいことゝ思つたならバ政府に之を行ふて貰ひ種類の悪い仕癖が有つたならば其れは止めて貰ふ樣に政府に向つて勸告するのが宜い決して政府に願ひを出すことを恐れてはいけませぬ

私は今日澤山の事に付てお話し致したいことが御坐いますが時間が御坐いませぬ故委しいことを陳ることは出來ませぬが人ハ身躰が大事あれバ成るたけ身躰は大切に致したく思ひます。其の身躰を大事にするにハ空氣の宜しき所に居るのが宜しう御坐いませう。若し此の空氣の中に悪い臭が有れバ其の中に住んで居る人に害の有ることハ分つて居ります。この樣なことはアナタ方より他の人に勸めてよい空氣の所に住む樣に致したい。又よい空氣をお吸ひなすつて其れから人の餘計居る部屋にはいつて御覽なさい必ず長く居ることは出來ますまい。其れハ身躰の汚れるバかりで無く呼吸をしながら健康を害します。私は一昨晩或る日本の宿屋に泊りましたが其の家ハ空氣の流通が宜しくない上に四方の障子をしめきりに致したれば猶々空氣が通はなくありました。箇樣な所は窓をあけて空氣を通さなければいけませぬ。私が國に居る時には極めて空氣の宜しい所に居りましたから此の宿屋に泊りました夜ハ始終心安くは眠れませぬ寝ても一時間位で眼が覺めました。而して言葉の分らぬせいか手をたゝいて窓をあけて貰はふと思つても少しも來て呉れませんで大きに困りました。あなた方は箇樣な所に住んでおいでのお方は有りますまいが若しも箇樣な所に住んで居る者がありましたら空氣の宜しき場所へ參る樣にお導きあらむことを望むので御坐います。

私は着物の事に付て少し御話しを致したう御坐います。皆さんの着ておいでなさる着物は大層美くしい樣で有りますがこれも追々改良なさるゝで御坐いませう。若し左樣な事が有りましたなら其の時に善いものをお拵へになる樣に只今からお諫め申しておきます。あなた方の衣服はたゞ前でばかり合ふ樣になつて居りますから手足を覆ふことが出來ませぬ。着物ハ成るたけ首から踵まで隠れ袖は細くしたいものです。其の方が働くにも都合がよく身躰の爲めにも健康上にも宜しう御

坐いませう。又靴は踵の大きくて低いのが宜しい踵を小さくまた高くしまするど健康に害が有ります。其れに西洋の服と違ひ日本の服は腰をしめる形が有りませぬが其れは宜しく有りませぬ。尤も西洋服は腰までかゝッて居りますが日本の人の如くかたくしめては居りませぬ。若しも私が時計師の處へ參りましてこゝが小さいそこが小さいと申しましたら時計師は何と申しませう。これで全備して居ると申すことで御坐います私共の躰は時計よりも能く出來て居ります。其の如く人の身躰も足も大きくすべき所は大きくしなければなりませぬ。其れを無理に身躰をしめ又爪先を小さくするのは當らないことゝ存じます。

私は或る懷妊した人が腹に紐をかたくしめたのを見ましたがこれは甚だ宜しくないが幅の廣い帶を澤山廻してしめるも宜しくない。懷妊の人の紐と帶とは違ひますが其の帶は私が見た所では大層後の塊まりが大き過ぎると思ひます（聽衆笑を含む）私は日本のお醫者からきゝましたにかく大きな者のをつけて熱さを生じますからさなくば無からうと思ふ病も出ることが御坐いますとか。左樣で有りませう、結びめの所があまり厚く御坐います。何とか帶を改良する樣お考へなさる樣に致したら御坐います。

さてこれより少し休みまして尚ほ禁酒會のことに付きお互に御相談を致したふ御坐いますから思召のお有りなさるお方は御遠慮なく前の腰掛へお進み下さい（演說畢）

右演說畢りたるのち有志の婦人三十餘名のみ留りて日本婦人禁會酒設立の事を談ぜられたる趣は前々號新報中に記載したる如し

●

○女子と小說（下）

次に女子の觀察力は何如ん、觀察力とは言はゞ氣を付くる心と云ふが如し然るに氣の付くとは男子に多しとするか女子に多しとするか何人も女ほど氣の付くものはあらじと云はん一瞥して頭のはしより爪先までの模樣を承知するは女の得意なり見舞心付應接とりなし等に心を配り五分の落度もなきやう氣をつくるは女の得意なり人情のやうす交際のありさま時好のはやり恰好もやうなんど一見して直ちに之をさとるも亦女の得意なり女の觀察力は密にしてよく至れりと云ふべし只だ其の觀察のわたるところ概ね低きに流れ大は政治の變遷四方の景勢より小は人物の善惡氣質等を明白に承知するとは稍や

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

足らざる所なる如しとハ云へ是れ必竟其教育の少きが故なるを以て若し教育高からんにはその觀察の模樣も亦自ら高うなるべし故に男女の性質に就て之を言ハヾ女子の觀察力ハ男子にまさるとも決して劣るとなしと斷ずるも敢て不都合の議論にあらざるべし

最後に女子の覺知力ハ何如ん。覺知力とハ言ハヾ感動の心と云ひ更にをしひらめてハ思ひやりの心と云ふが如し然るに女の感動し易きと瑣細の事にも思ひやりの强よき由は何人と雖も決して不承知なきことなるべしされバ西洋に女を感動の人と名け我國にも思ひやり强きハ女の如しと云ふとなりこの故にある學者の說に男子は物事の理屈を考え有益の事物を發明すべし女は之を聽きとりて人々に說きまハり濃熱なるその感動を發して人心を動すべしと云ひまた世上の貧人をあハれみ其苦脳をおもひやりて之を救ふの方をめぐらし病人のくるしみをかなしみて其さみしさをおもやり之を介抱するなんどすべて慈善の事ハ一切女の仕事とすべしかゝる事につきては女の特に得意なるところ男子の決して及バざる所なりと云へりこれ必竟女の感動及びおもひやりの强きが故なるべし故に男女の性質について之を言ハヾ女子の覺知力ハはるかに男子にまさる者とするも決して不當の議論にあらざるべし

以上述る如く女子の想像。觀察。覺知。なんど何れも男子の下にありとは思ふ可らずもしよく之を養ハんには反つて其上に出ることあらんとは吾人の確く信ずるところなり然らば女子ハ小說の作者として甚だよろしきものなり若しよく勉めなハ男子にまさるほどの作者にならんこと決して難きにあらざるべし故に古來哲學に於て男にまさりたる程の女多くあるなし理學に於て男にまさりたる程の女多くあるなし其他に於ても亦ハ大抵世にすぐるゝ程の名を得たる女と云ふは甚だ尠く寧ろこれなしと云ふとの至當なるやうに覺ゆるをたゞ小說の作者としては古今に有名なる女の多くあると實に驚くべきなり見るべし紫式部の源氏物語に於ける淸少納言の枕草紙に於ける伊勢の伊勢物語。阿佛の十六夜日記。赤染衛門の榮華物語。辨の局の狹衣。道綱の母の蜻蛉日記小野お通の淨瑠理物語。等みな今にのこりて和文の小說中主位を占るものなり西洋にてもゼヲヂイリチット。ミッセスブロウニング。ミッセスビーチエルストウ。ミッセスチリフハント。ハンナモール。及びゼヲヂ。サンドの如きいづれも男子に凌駕するほどの女作者なり

吾人は女子のよく小說作者たり得べきとを云ふにあらずその

甚だ女子に適當せる仕事あるとを信じ何かゝるとは女子に委任するを可なりと信ずるものなり况んや現今女のよむべき良好の小說わるなくして然も小說の讀子は女ゞ多し故に吾人ハ女流に卓越せる作者の出んとを切望して止まざるもの也

● 叢話

○女子の投票權

國會の議員を撰擧するに當り女子にも投票の權を與へよとは英米の貴婦人等が多年熱心に主張する議論なり此事に就てハ吾人も亦た大ゞ說あれとも吾國には今之を論辨する程に切迫せる事情わらざれバ事々しく之を說かずたゞ西洋にて婦女子が何如に熱心に之を主張するや又之を主張し若くハ之に反對そる者などの論點は何如なりやなどを談ずるは益多きとならんと思ふあり

近項のナインチンスセンチウー(英國の雜誌)にチャプマン夫人と云へるが女子に投票權を與ふべからずと論し大膽にも其不可ある理由若干をあげたりその中に云く

米國にて多少の女子が熱心に投票權を女にも與よと主張するに係らず其議論の左程に勢力あきは必竟婦女子たるものゝ之を好まざるゆゑなり抑も女ハ家政を治るか子弟を敎育するか貧人を救濟するか病人を看護するかすべてかゝる事々には天然に得たる所ろ甚だ多し投票權を得て同主義の議員を撰擧し政治社會に優劣を競ふ如きは眞實その欲せざる所あり。且や女ハ躰力に於ても智力に於ても共に男子に劣るものあり故に女にも同樣の權を與ふるの理あきのみあらずかくするは女の得意とする所を行はしめざるあり女は其感化力を夫若くは子供等に及ぼし以て關接に社會を動すを得べしされ女の得意にして世に効能あるは之が爲めあり然るに此長所を棄てさせて男子と同樣の途に競爭さする時ハ一家に於てハ夫婦相ひ爭ひ一國に於てハ感化力を大に發する者なきの損わるべし

右に云ふ如き主意にて女子に投票權を與ふるとを不可としたるに故の驛遞總官フホーセットの未亡人として女流社會に秀名あるフホーセット夫人は之に答て

チャプマン夫人が女にして此權を受るとを好む者少しとの一言は全く事實に相違せりとてナイチンゲール。カーペンター。イガビーソマービル。マルチノー。グレー。アンデルソン等の貴婦人令孃を初として古今に有名なる女子に此事

Digitized by Google　　Original from CORNELL UNIVERSITY

を主張したるもの丶尠からぬ證跡をあげ又云く今ま英國に存せる新聞雜誌中女子に關係あるもの丶彼の女王雜誌を初とし其他一として此事を賛成せざるものなし又所々の女子が願書に捺印して國會に此事を請願するは人の知るが如く所々にこれあり現にマンチヱストルに近きハイデには女の戶主七百人あるにその六百〇八人は一齊に願書をつくりて此儀を國會に請願したり又カムブリッヂのニウンハム大學校にて女子投票權與ふ可らずとの議題を討論せるときハ十三人に對する五十六人の多數にて失敗したり又倫敦のある女子職業學校にて同樣の事を討論せしめんとて書記より此議題を提出したるに全員同意して投票權を與ふべしと思ふ程なれバ斯る問題を以て討論すると能ハずとつぶやきたり女流にして此事を好み此事を賛成するハ如此し然るに尙ほ女は之を好まざるが故ゑ議論に勢力なしと云ふかとて痛くチャプマン夫人の第一論を破りたり。又云く女と男との躰力智力相違せるや否や今ま女子投票權の論を主張する人々のうちにも或は優劣なしと云ひ或は優劣ありと論じ必しも同樣の意見を有するにあらずたゞ同樣の意見として共に主張するはたとひ女は男に劣りたりとも此劣りたるが故に十分の自由を與ふ可らずと云ふの理由なしと云ふとなり若し女の力質に劣りたるか此劣りたるを憫みて更に發達せしめんとするころ男子の義務世人の義務ならずや女は今またひ男に劣りたりとも健全なる食物をとり新鮮なる空氣を吸ひ日々に運動し適當の衣服をとるとなんどハ男の身躰に必要なる如く女にも亦た必要なり然らバ女の心力を發達せしむるにも亦た男に必要なる程の自由を與へずんバ到底女をして進化せしむると能ハざるべし佛蘭に於てハ革命ののち英國に於ては千七百九十二年の後ち女權初めて起り女は男と同樣に一個の人類なるとを承知さる丶に至れり斯て多少の自由を女に與へたれバ爾來一世期をも經ざるうちにセーンチウステン。ブロンテー姉妹。ブローニング夫人。ゼチヂイリチットの如き女子をも生じたれ若し之よりして女に投票權の自由を與え女をして更に發達せしむべき方法を供ゑなバ多くも經ざるうちに數多の女秀を得るに至らんハ甚だ明白なりとて痛くチャプマン夫人の第二論を破れり

右の如き主意にてフホーセット夫人の答論あり其後ちまた之を駁したるものもあるなり女子に投票權を與ふべきや否や是れ甚だ大切なる議論ならんされど吾國には今日之を論辨する

の地位にても進まざるなりたゞ吾同胞姉妹にして少しく西洋の志想を味ひ外國の女子ハ何如に活潑に何如に勇進するものなりやの一事を味ひ玉ハゞ其益決して少からじ

○をきな演説　（第二席）

私は惡まれ口のやふなれども言ハなくてハならんとですから申しますが皆さんよつく主意のある所を聽てください近來西洋の學文が追々にひらけまして女の方々まで中々ゑらい者とならしつたれバ十ヶ月で生れる子供の初は錫杖に似て居るとか初よし後わろしの合性ハ爭へんものだとか云つて敎えて居つた姫鏡ハ最早役にも立ちますまいそれはまことに善いとで私も老人なれど頑固に西洋の事を嫌ふなど云ふとは毛頭ありませんが茲に西洋の事だと云ふと何んでもかでも悉く之を善いと思ふたり甚しきは西洋にてすら餘り尊うとまれぬとを喜んでまねやうとするなどは甚以て苦々しひ事だと考へますと云ふは此頃ある所より招待をうけまして參りますると洋服を着た紳士貴婦人と申しますか西洋風の方々が多く御出になりました其模樣取なしより馳走の工合宴會の仕組など一々目新らしくこれが開化の風かと思ひますると成程この方が便利であらうかくする方が重寶であらうと考えましたとですが其中に一つ尤もいやに感じましたるとがあります宴會の半バ比ろ少し廣ひ舞臺のやうな所に參りまするとやがてブツ〳〵と音樂がなりますハテナと見るまに男が女の手を牽き連りよ飛びまハります甚しきは抱へ合ひますもたれます轉びます何事じやと驚いて問ひますれバ是が踏舞とて近來上方の奥樣孃樣などが熱心に流行らせんとなし玉ふ遊藝だと申しましたイヤハヤ此は何たるとでせうどれ程辛棒して西洋の風も宜しいと申し居りましても之を見ては實に小言を云ハずに居られません皆さんコレハ抑も何の爲にするとでせうか或は交際の爲だと申します然し交際の爲ならバまだ色々よい致し方がありませう運動の爲だと云ハゞ更に善い工夫がありませう我か國でハ男女七才にして席を異にさせたる程嚴しひ敎がありましたとですから男女を一とつ處に置くすら大抵ははぢるものですそれ程にイヤな習慣のついたるものハ中々急に自由にするとハ出來ませんに乍ち手を引合ハさせ抱き合ハさせなどするはどうして弊害がなくて居られませう今ま現に踏舞を主張する人々に問ひませう之が爲に弊害の甚しきとがありませんでしたが又之をなさる方々に實際大なる利益がありましたかドウデスありましたか成程之れが爲に男を何とも思ハざるやう

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

になり弱い躰が丈夫になつたなど云ふ位の得はありませう然し夜一時二時迄で飛び廻りてはいろ〳〵の物を食ふなどよりも支那や朝鮮の婦人のやうにブランコまでも乗る方がまだ善いでせう男女交際の爲だと申すなら一處によつて書物をよむとか詩歌の會をひらくとか云ふ方が余程まことの親睦になりませう西洋で此遊藝が盛んになつたは男女交際の道が余程開けましたのちであつて決して七才より席を異にしたるほどの男女を交濟さする遊びではありませんソレデモ尚ほ弊害があるといつて本當に高尚な教育をけうた婦人令娘は決してコンナ遊びを致ませんと申しますそれに何んぞやエビシも知らず西洋の地理も知らん全く東洋の娘子たちがこんな遊をして益がありませうや決して〳〵ありません御覧なさい今に色々な不評判が所々よきこゆるでせうあなた方決してコンナ遊に交いつてはいけません決して〳〵なりませんよ（衆默然）

○看病の心得

看病は女子の得たる一つの天命なれば女はよく其心得方を承知してあはれなる病人を介抱すべし左の一篇は社友川勝君より申越されたるものなり

看病人は病人の苦痛をしづめ安からぬ心を慰むべし

常に爽かに且つ温和なる容貌をなし働作靜かにして恐怖悲憂の狀態を呈し又た輕忽なる風をなす可らずすべて病人は看病人をのみ頼むものゆえ之をして心を不安にせしむるやうの處置はなす可らず

病室の温度は六七十度とし病人の好む所に床をしくべし空氣は流通よかるべし但し外氣の直ちに病人にあたらぬやうに屛風などを用ひ遠くより枕元を被ふべし

床の近邊に悪臭を發する者を置く可らず瓶に花を生け床には花鳥の軸物などすべて病人の氣を他にひき可成爽快ならしむべし

室内は可成清潔にし物器はたび〳〵洗ひ布團類は度々取換えまた軟き物を布きて床ずれせざるやうに計ふべし

病室内には何事も靜かにするを大切の教とす

看病人ひる間は正しく喫食し夜間は淡泊の品を食ひ衣服は寒氣を覺えざる樣にし曉は身躰つかるゝものゆえ注意すべし

但し晝間看病したるものは徹夜す可らず夜間は少しも眠らざる看病人を置け其人は晝の内十分に眠らすべし

夜中入用なる品は眠る前にそなえ置き夜深けてさがしまはり病人及び家内の人々をさはがすと勿れ

病人の藥及食物は醫士の命のまゝを嚴重に守るべし
病人に與ふる食物の料理方は甚だ大切なることなり此は別に說述すべし

○批評

ひざもとのをしへ　中本一冊(二十三葉)定價十錢

此書は近藤眞琴君の母ぎみが子供ををしへたまふさまを同君の令閨眞樹子がみきゝのまゝ述べ玉ひしものゝよし小冊子なれども近來の好著述と云ふべし（母が子供をひざもとにて敎ゆるは敎ゆるとおもふ可らず遊ばする心あるべし）（子供を敎ゆるにいやにならぬ樣にすべし）（よみたき心の出で來る樣にすべし）（あきぬうちに止めよ）（かきて玉へやなど言ひ出るとあらバこなたに差支ありとも可成く手をあけて少しにても敎ゆべし）。など其外あまたの注意は皆な實際の經驗より出でしとあれバ自ら敎育學の眞理にかなひ思はず感歎するとあり且つ文はことごとく平假名にて讀易く價も至つて低けれバ子を持ち玉ふ母親は必ず一冊を求め玉へ吾人如此き好著述を得たるは實に大賀にたえざるなり」但し繪をかきて見する心得の雛形を示されたるうちに（あさひ）（おほつゞみ）（おきなのめん）（こめだはら）（そなへもの）（ぬのこ）（ぬま）（ひえまき）（るりのあさがほ）（るり）など云ふは或は悟りよくゝ或はまぎれ易ければ宜らずと思ふ又文字を重ねてよまする心得の雛形を示されたるうちに（きら）（しり）（せこ）（たみ）（へを）（みら）（をみ）など云ふは或はきゝよくゝ或は分り難ければ可ならずと思ふ然れどもかゝる小瑕は此書の美を損するに足らざる也

●論說

○女子の敎育を論じ併て耶蘇敎擴張の法を說く

（其二）　外山正一

さりながら將來我が邦の婦人の殊に必要なる資格は尙ほこの外にあり。之を擧れば即ち將來の婦人は成るたけ男と同感の出來る如きものたらざるべからず。婦人と雖も人には人たる者の義務あることを知る如き者たらざるべからず。「セルッレスペクト」の心を存し徒らに人前のみを飾るが如きものたらざるべからず。男子と同等のツキアヒが出來。社會に出てよく交際を爲しよく事を爲す如きものたらざるべからず。久しく西洋に留學して西洋の風俗に化し西洋人の感ずる如く感じ西洋風の考へを持ちたる男子の妻たらむものは等しく西洋人の感ずる如く感じ西洋風の考へを持つものたらざるべからず。

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

男同士でも久しく西洋人と交りてよく西洋風に化したる者と全たく日本風に育ちたる者とは學問に於ては優劣少しも無きも兎角何やかにつけ口の合はざることは皆人のよく知る所なり。女子でも其の通り學校教育のヨシアシは兎もあれ西洋人と親しくつきやひて西洋風の心になりたる女子にあらずむば將來の高等男子とハ到底口ハ合はざるならむ。而して封建時代の如くに夫婦の關係は奴隸と主人との如きものなりと思ふこと無く夫婦は全く同等一體のものなりとか最も親しき相談相手たるべしとか思ふ如き者に取りては口の合はざる者を妻とし娶らむことは素より好まざる所ならむ。將來我が邦の婦人は交際家の妻となつては夫を助けて共に交際に從事することも出來學者の妻となつては夫の仕事をよく理解しよく感賞することが出來。慈善家の妻となつては共に慈善の事に與かり。男子が某々の會を設くれば女子も亦某々の會を設け男の手を假らずして慈善の事を爲し救助の事に從事する如きものたらざるべからず。

然れども殊に將來の婦人に必要なる改良ハ少しく「ヴァニチー」の心を減じて之に代るに「セルフレスペクト」の心を以てせむこと是れなり。何れの邦を論ぜず女子と云ふものは兎角「ヴァニチー」の多き者なるが我が邦の女子は子を愛する心の外は「ヴァニチー」心の爲めに最も多く支配さるゝものなり。而して其の「ヴァニチー」たる實に下等なる性質のものにして上等なるものは甚だ少なし。我が邦に於ては女子のみならず男子にも「ヴァニチー」が多けれども男子の「ヴァニチー」は功名手柄をなして人から賞められむとする如き稍や高等なるものもあり。然るに女子に至りては其の働きの範圍極めて狹く。廣く社會に對しては少しも關係なきものゝ如くなるが故に其の「ヴァニチー」は僅に髮飾りのことや衣服のことに關するもの若しくは容色自慢等の如き極めて淺劣なるもの多し。素より女子には廣く人を愛するの心だの。社會に對しての義務だの。人たる者の道だのと云ふ考は藥にしたくも無きが常なり。道とか義務とか云ふ考へは少しは有るには有りても貞女兩夫に見えずとか浮世の義理とか云ふ位のことにしてこれ等の道を履む者は自から好んで之を爲すに非ず。いや〳〵ながら詮方なしに無理往生の心中と同樣に泣く〳〵從ふ道にぞ有る。佛法の德薄くして慈悲の心は我が邦の人には至つて少なき故善事を爲して樂みと爲さむと思ふ如きものは後生を願ふ婆々の外は稀に一人も有ると無し。概して言へば今日まで我が邦婦

女子の生活は蛆虫同樣の生活に少し毛の生へたるものに過ぎざるなり。かく淺ましき風俗を一洗なして幾分か開化國の婦人の資格を得せしめむことは今日極めて肝要のことなるが又極めてむづかしきことなり。前にも言へる如くこの改良を遂げむ爲めには特り學校教育を頼むべからず我が邦の婦人をして親しく西洋の婦人に接せしめて其の風習に染まらしめむこと最も必要なり。さりとて前に言へる如く婦人を多く洋行させむことは到底出來ざることなるが故に余の考へにては女子の高等教育は之を宣教師社會に託するの外別に上手段はあらざるならむ。宣教師の少なき所は如何ともすべからざれども東京の如く各派の宣教師數多居るの土地に於ては其の宣教師輩が互に一致和合せむには五六の女學校を設立せむことは左のみ難きことにはあらざるならむ。五六の女學校が東京府内に出來むには東京府中の高等教育は其の學校にて全く引き受けることを得む。四五人の宣教師と其の夫人と二三人の日本人とが一學校の教授に從事せむには教授は其で充分ならむ。教科は讀み書き。會話。裁縫。音樂等を專らとすべければ專門學科の教授などは決して入らざる所なり。若し理化學。博物學等の一斑を知らしむることを必要とせば專門學者を頼み一月に一回若しくは二回其の學問上の談話を爲して貰はんには其れで全く充分ならむ。今では專門學者にも婦人の改良を熱心に希望する如きもの追々多くなりたればかゝる仕事を最も快く引き受け吳れる如き者決して乏しくはあらざるならむ。かゝる學校が出來て教師の婦人若くは女宣教師が深切に生徒を取り扱ひ。授業のアヒ間若くは折々教師の宅へでも招きて懇ろにくらしの事や子供の育て方の事などを教へながら開化人の品行風俗人情を聞き習はしめ見習はしめむには我が邦の婦人の有樣を改良するに如何ばかりの益か有らむ。されば宣教師輩に向つて余の切に望む所は各地宣教師輩が互に和合一致して前の如き女學校を設けられて我が邦高等社會の女子教育を宣教師社會にて全く引き受けられむと則ち是也。（未完）

○世の良人たるものに望む（二）

中嶋俊子

然らばこれを如何すれバ可なるか先簡單に其手續を擧れバ最初客來る時其都合によりて未だ妻と面識あるものに非ず且用談にて直に歸る客ハこれを妻に告ぐるに及ばざるも否らずして所謂友誼の爲めを以て來るものには主人妻と共にこれに面し之れに語り席上の都合ハ悉くこれを妻の意に任じ少々主人

の氣に叶ハぬことあるもそは唯兩人深閨に對坐の節にのみ教へもし聽きもす可し決して客ある席上に於て主人喙を其饗遇の間に容れ妻が一家の交際官たる面目を汚がす勿れ
見よかの客となりて他人の家を尋し時主人と對話中妻君の出で稀れに面するあるも殆んど其妻君も己れと齊く客人の如く唯行儀よく低頭するのみにして顏のみ衝き合せ居るか然らざれバ其家の下婢と異なることなく主人の命令通りに戰々兢々として茶或は煙草盆を出し是れにて先己れの役目終れりとても言はん有樣にて匆々其席を立ち去る等は甚だ殺風景と謂はざる可けんや
縱然ひ我邦の婦人が幾ら知識に乏しきと言ふと雖も一家の交際官たらしむる位の役目を務むる能はざる如き萬々之れあらざるなり畢竟其良人あるもの餘り婦人を小兒視して其負擔せしむ可きもの至りて少きが爲め隨て今日の如き解語の木偶の如き婦人を現出せしものなり依て余の望む處のものは男子の心持ちを一變して己れの妻を以て一家の交際官となさしめ交際上の毀譽榮辱は皆之れを妻に負擔せしむるに至れば期して一般妻たるもの丶知識を增加し隨て世界一般交際の愉快を占領するを得るは敢て難きに非らざるなりと信ず

● 佳傳

○ナイチンゲールの傳（二）

ナイチンゲール英國に歸省したるのち先づ其の仁惠心を伸バさせたる場所を老母養育院とすそも當時英國の風習として凡そ可成りの資產あるものハ大抵其子供を學校へ遣ることなく皆な別々に老母をやとひて戶內に教育をとらしめたり是れ宜しからざることにて何如に完全せる教師をやとひ得たりとも寧ろ之を公同の學校にをくりて數多の子供ともろともの教育を受さするかた遙かに良策なりしならんよ當時一般に此覺悟なかりしは憾なりけり然るに此老母なるものハ大抵一年百圓乃至百五十圓の薄給をうけて終日子供の傅となり先生とあがめらるれバ汚られしき衣物を着得すらばと尊まるれば相應の交際も必要にて物入少からざるにかゝる僅かの金をうくることなれバ年波の寄るにつれても貯金の便りハあらず一朝病の床に打伏そか又ハ年いと老いて敎育の事も出來がたき曉はまたせんすべもあらざるなりかくて數多の老母一樣の困苦に陷り門に立ちて物乞ハむ斗りとなるも多ければ斯る人々の爲め老母養育院と云へるを設立し病若くは老年のため困苦する老母を入院せしむる慈善の企をなすものありき

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

然るに創業以來多くもたゝぬ間に此養育院の維持甚だ六かしうなりたれば其かゝり人のすゝめに任せナイテンゲールは年の若き經驗の足らざるを顧みず喜んで一身を捧げ自ら進んで其任をとり一意に此院の維持をつとめ爾來夜會宴會なんど云へる類ひには一度も出席せず始終病める老母の枕元に坐して之をなぐさめ介抱などしながら己が資產は悉く之に義捐せりされば久しからずして過勞の爲に病を受け止を得ずして此院を去りたるに其去るの日はすでに院内の維持を固くし復た顧慮を煩はさゝる有樣とはなしけり

ナイテンゲール最初の着手はすでに斯く其仁惠心を現はし得て天の賜へる美德の有力なる趣を示したれども之をして更に大なる働き場に出で向はしめ其仁惠心をして更に大なる需要の場所に雨ふらせたるは其後幾年を經て千八百五十四年と云へる年(ナイテンゲール三十五才の頃)古今に有名なる英露の關係生じ來りて無數の兵卒戰場に痛苦を訴ふるの日となりたる時なりき

當時英國の軍勢二万五千まづ船裝して年の三月黒海に向つて出帆し最初にマルタと云へる一小島に着したり此島の地位緯度を以て計れば左程にも寒からじと思ひけんを春天の暖なるも尙は嚴冬の嚴なるにまさり一天もし曇つて雨を下せば四氣忽然として氷の如し然共若し雲晴れて光を通せば六合赫々として火の如しかねて用意したる天幕は風一掃して悉く破られ本國より送ると云へる食物も止絶ゆるとしば〳〵也されば此島を登りて海岸に渡りおとより來たる軍勢の仲間增加するにつれて加はるものは病人の數のみなりまして此年の冬となりては雨風つねに吹きすさみて陣所天幕ことごとく奪ひとられブランケツト。上衣。帽子。ヂヤツケツト。天幕。机。椅子の類ひなどみな吹きとられては吹き降る之に驚く軍馬のかづ〳〵繩かみ切りて驅けまはり互に狂ひ争ふさま一目の及ぶかぎり狂馬の牧場ならざるなし夜に入つては雪霏々として下り時には雨をまぜて量足を沒するに至るされば倫敦の市に物乞ふ乞食も此陣中の王にはまさるべし特にあはれむべきは病人ありコレラ一度び發すれば百千の人乍ち死す之を葬るべき穴もなく死骸を持去るべき場所もあらず僅かに設けたる病院二三ケ所ありと云へど院中は病人病人を介抱し死人死人を看護するのみ藥なんど云へるを用ゆる便りはゆめにも及ばざる次第なりされば翌年の正月となりては彼レヂメント(二千五百人)の中ち役立ち得べきはたゞ七人なり此のレヂメントよは三十人あ

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

りとてやゝ安心する姿ありけり此故に二月十日の統計にて四萬四千九百四十八人の軍勢中病院にあるもの一萬八千一百七十七人ありしとは又た驚くべきにあらざるべし

かゝる有様一々タイムス新聞の報告に見えたれば同情深き英國民の心は宛がら刺るゝ如く或ハ金を集め或は物を募り之を戰地に送らんとせりかゝればタイムスの持主發起となり更めて救濟の金を募集したるに十三日を經ざる間に七万五千圓を得たり之にて沓足袋。チパーコート。フランチル。下衣。砂糖。石鹼。葛。茶。酒。なんどを多く買求め委員一人を附して寄送したり然るに病院にある人々介抱の爲め信切なる看病人を必要する旨ハ所々の病院よりしきりに申し出したれバかゝる看病人を送らんとの企つぎに世人の注意するところとなりぬ於此乎かのナイテイゲールは一世の好機を得て燃る如きその仁惠心をあらはすの地を得たりけり（未完）

○梅香女史の傳

第十四　同じく是れ落花　或ハ茵席又汚溷

孔門の弟子三千人あれども六藝に得たるは十八人を超えず基督の使徒十二人あれども其一人は後ち大逆を爲すときゝぬされバ同窓にありて同樣の課業を履みひとしく年月を學びの庭よ費すとも得べき才力は皆均しからず況してや其性質氣風に至ては再び生るにあらざれバ一變するといと難しみなそれ〴〵の樣を保ちておの〳〵得たる學を用ゆ於此乎學んで大に正しきもあり字を知りてよりあやまれるといよ〳〵甚しきもありと云ふ吾人かの東京に名ある或る女學校の業を卒えたる女秀才につきて玆に傳ふる梅香よちあみある二人三人の有樣をきくに恰も是れ芳野の櫻花飛んで落る所を異にするが如し彼の孝と云へる松本はよく擇ぶ所を知りて歸するの地を定めたりと雖どもこれより尙ほ幾層の變遷あらんか之を今日に知る可らずかの古木と云へるものゝ商人を夫とし幾何代數にねり固めたる腦力は損益の乘除に反つてうたくるしきを覺え決句なりはひに學文の妨あるを訴ふる如き。高橋の妻となりて敎育の事を任とするものゝ其地位の甚だ重く任の輕からざるに似ず驕慢人を凌ぎて世の丈夫を非男視するその感化の反つて學なきものに劣る如き。また獨身嫁せざるを悔りて自由擴張の演說に奔走し肩は怒りて砥の如くわがきはさばけて途ゆく兵士に似演壇に登りては諸君よ諸君の一聲必らず男女同權の空理を伴のふかの渡邊と云へる一女子の如きさらずもがなと

思ふ類ひ最と多し彼の梅香の如き始は英氣の流るゝに任じて自ら粗暴の行に失し中ごろ優愛の情あふるゝに任せて少さか沈鬱の思になやみたれども一たん大に悟るところありてより性質ほとんど再生したるものゝ如く其好む所其望む所ろ俄然として豹變せり思ふに梅香の如きは最上乘の途に進むものなり孝の如きも亦た靜かに上乘の途に入れりと云ふべし其他の三女の如き吾人の心より之を評するときは固より好ましからぬ所多しと雖ども若し之を更に多き他の人々に比ぶるときは或は尙ほまさる者ありと云ふべき歟

かくて梅の心のうちに甲乙の戰あり時としては情慾のきづなよれくして心猿と共に狂ひ離るゝとあり滿腔大に熱して全身ふるひ溫まるほどの思もありと雖どもまた心を靜めて密かに彼の道理を思ふときは俗世の樂はすべて浮雲の如く肉身の慾はついにあき易し皎々たる明月の雲を出でびやう茫たる海水の廣くして涯りなきさまなんどを考ふるときは人間の樂しむべきところ此等の外にありと思はれ心猿自らかくれて丹田の水平らかなることもありけりかゝる戰ひ心中にしば〳〵ありと見えけるうち眞心の力次第々々に强なりて情慾の軍勢はまたもり返すべき心地もあらざるやうになり道念つねにすが〳〵しう覺えて平和喜樂云ふばかりなしかゝるうちに年もくれて翌年の夏となれば恰も是れ其業を終ゆる學期となり試驗は上々の點をもつて了し卒業の式はいと見榮えある盛會をもつて終りけり

梅をして若し當初の氣象あらしめば卒業式の答辭はさだめし賓客を喫驚せしめん卒業後の行爲も必らずや人の意外に出ることもやありけん然れども今の梅は昔日の靑山氏にあらず答辭はいとへりくだりたるをもむきにて左ては卒業生徒の榮もあらずなど人に思はする樣もありけり况して其後の行は殊更ら常とかはりたることもなく卒業と云へるは梅の心にとりて僅かの感動をも與へざる風に見えけりたゞ連に築地なるかの洋婦人がもとへ趣きつゝ專ら計畫するところありやにきこえけるが遂に叔父の許をうけ其婦人の歸省するに伴ひて米國へ航することと定めたり但だ母なる人には未だ申し出さゞれど平生の氣質にて推せば固より之を止むべき人にはあらずたゞ父上の行衞いまだ定かならず今は母一人子一人の樣なるを如何に志あればとて病多き御質の母樣一人殘しをかんは何如ならんなど自ら思ひ煩ひしかば心に斯とは定めながらまだ明らかに申出でずよき思案もがなとおもふさまに見えける

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

寄書

○足柄山　　月の舍　しのぶ

月夜弄簫の古事を思ひてよめる

くさをひしげる、わしがらの。そのへのつゆは、よな／＼の。
たまのしとねを、わだにして。來んひとをしぞ、まちにけり」
こよひもふけて、つきたかく。たにのこゞえの、うえ見ゆる。
まん山しゞけき、をちこちに。まづひとこえの、ありわたる」
しばしとだえて、また一ッ聲。こえに千すじの、いろこめて。
ねむれる木の葉、ふるひいで。つらぬくたまれ、とびちりぬ」
そもみちのくの、せんぜうは。いろねを見する、よしもあれ。
こえなつかしき、たらちをの。ねを吐くふえは、かたみなり」
ひゞくこだまの、ねいちりぬ。こゝろをうてる、音ちやうは。
うせにしちゝや、うせんずる。きみがかたみと、おぼへなん」

○二首　　大坂今橋一丁目　巽　くま

倚翠偎紅夢一塲、靜看鑪篆弄輕黄、記曾歌吹海中宿、酒醒地頭聞此香、
手捻龍涎仔細燒、春深無客問無聊、鳥啼花落晩蕭寂、心字灰中香欲鎖、

關鈉堂評　二首共合樊川放翁爲一手心靈筆妙

○雨の日　　府下芝區　中村由道　投

左はロングフェロー氏の作を譯せるものなり

止みなき風に日は寒く　空かきくもりうすぐらき
いと物うしの雨の日に　破れまがきのぶだうづる
吹く木枯しに葉は散て　日はいとくらくもの淋し。
わが命こそいとさむく　風は止みなくわめそゝぎ
心ぼそくも破れたる　過よしことにまつはれど
望は風にふきさられ　日はいとくらくもの淋し。
穩かなれよわがこゝろ　悲む勿れなはそこに
雲のうしろに日は照ぞ　汝が運命は世のつねぞ
世わたるうちは雨も降　物うきこともあるべけれ。

○二首　　上總望陀郡　久保田柳蛙

暮秋客中作

垂柳枝瘦拂欄干、雨灑庭園蟲語酸、千里家山何日到、先因哀雁問平安

冬夜泊舟

風搖枯荻戰寒流、瘦柳殘蘋夜繫舟、一二曉鐘何處寺、忽回殘夢惹鄉愁

●本鄉木村百合香子の今樣正に落手其他は次號に揭ぐべし

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

●新報

○温泉の注意　今年二三月の頃より浴湯の制きびしうありて男女の醜躰をかたみにあがめ合ふ如き蠻風はたえてあらざるやうなりけることと甚だ欣賀すべき一進歩と曾ても祝したることあるが今ま所々に多き温泉場に趣きて之を見るに警察の注意茲には全く至らざるの趣あり湯壺一ッの外あらざる程の場所には止を得ざるとの辨もあらんが三つ四つをそなふる場所に於ても何處も男女の混浴をゆるすと何如なる御主意あるか甚だ了解しがたし温泉場は外國人の尤も多く來る所なるに若しかゝる様を見て全國の道徳も大抵かゝる程度ならんなど推測されなば甚だ遺憾なるかぎりと云ふべし然らざるも茲に浴するもの男女おの／＼其躰を現はして毫も愧る所なきが若し愧る所なからんには吾人は之をして大に愧るの程度に至らせんことを切望するものあり西洋人の温泉に浴するや四面に幕を張り戸を密閉して一人別々に入室す吾人之を見て同胞姉妹の為にはぢざらんや切に當路者の注意を仰ぐ

○布哇婦人の風俗　は總て歐洲風なり女の衣服は歐洲の婦人の如く上着腰衣の二つには分れ居らざるもその仕立方は略ぼ同様にて上下一枚の布衣をふはりと着用し是にて胴を括り靴を穿てば歐洲の婦人と丸で異なる處なしろの色は種々にして赤フラチルあり黒薄羅紗あり又黄色の木綿を用ゆるもありと云ふ　（本年八月十一日時事新報）

○私立岡山女學校　岡山縣知事千坂高雅氏の令嬢某は深く天主教を信仰せらるゝとは豫て聞き居たるが今淺草茅町公友社より發兌する天主の番兵と云へる雑誌を見るに此の令嬢は名をアリヤアガタと呼び先頃より一の女學校を設立せんと種々盡力したるに其功空からず終に私立岡山女學校を建設し去る六月十五日開校式を行ふたり學生は既に一百餘名ありて教師は佛國女教師二人自ら校主となり頗る學務に盡力すと云へり

○婦人の代言人　米國のカットストンマンと云へる婦人は六月二十日にアルバニーなる紐育上等裁判所に出廷したるが此より先き同婦人は法律家となることに意を決し反對論の盛なるにも拘はらず紐育州の立法院をして代言人試驗に及第したる婦人は紐育州の法廷に出頭して代言を爲し得るの條例を議決せしめ後ち代言人試驗に及第して其免許狀を得たる處裁判官は其免許狀に州知事の證印あるに非れば法廷に於て同婦人の代言を採用せざる旨を申渡したるにぞ同婦人は更に手を

盡し漸く州知事の證印を得て出廷したるが右裁判所の掛り裁判官は以前同婦人の代言を採用せざる旨を申渡したる裁判官と同じ人なりし婦人の代言人が法廷に出るは古今未曾有のことなれば當日好奇の傍聽者は所々より集り來りて法廷に充滿したり又同婦人は年齢三十五年にして眼鋭く總て容姿は決して醜きものに非ず又カリホルニヤ州の知事は其兄弟の一人なりと米國新聞に見ゆ

○貴婦人の夏服　この程倫敦に於て英國皇太子が自ら會主となりて舞踏會を催されたる折貴婦人方の打扮を聞くに中には白色の上服を着しも多かりしが過半は灰色又は混合色の衣を着し當節倫敦にて流行なる黄色のものは思の外に少なかりし帽のみは黄色のものを用ひたるもありしが之は一際目立ちて人の注意を惹きたり併しその中尤も澁く見へたるは最上の黒きレースの飾りある白味を帶びたる黄色の上衣を着たる一婦人にてその携へたる日傘は黒き絹にて張り之に黄色なる裏を付け同じく黄色なる絹緒を以て飾り又その帽も黒色にして其形極めて少さくその飾りとては唯黄なる羽を着たるまでなりしと又一人の貴女は緑色の衣を着け同じ色の帶をなしたるが之れ餘り見榮よくあらざりしと此日皇太子の妃の裝束は若緑色にして皇孫女達は何れも鳶色なりしがその他貴顯の婦人方は多く白色の衣を着けられたるよし　（本年八月十一日時事新報）

○下婢の不足　近年一般不景氣の爲め田舍にては婦女の仕事なきより今春來機織女等の府下へ出で奉公口を索る者頗る多く爲に一時は奉公口も塞りたる程なりしが此頃は田舍の不景氣も幾分か恢復の兆あり殊に目今虎列剌病の流行するより續々暇を取て田舍へ歸る者多く其が爲め春頃とは打て變り大に下女の供給に不足を告ぐるに至りたりと云ふ

○京都の女教員　京都上下兩京各小學校女教員が下京の三組明倫學校に於て唱歌會を嘗て開かれたるが昨今はすでに百六十名餘の傳習生ありと亦聞くところに依れバ本月一日より三週間内に上下各小學校の女教師は悉皆束髪に改めらるゝと云ふ

○米國金滿家のくらし　有名なる米國の金滿家ゴールド氏のニユーヨルク の居宅は二重鳶色の石にて造りたる平面形の家にして内部の有樣はさながら宮殿の如く壁上の畫のみにても五十萬圓を費しその修飾粧點の費用は實に夥しきものありゴールド氏の一人娘なるデリー孃の室は第二層の中央にあり

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

て銀色又たは白色の装飾あり第三層は氏の三人の小兒エドゥハード、フランク、ハロルドの讀書室幷に遊戯室にしてこの三人の小兒の師傅には一年に夫々二千圓、四千圓、千八百圓を給すと云下婢長同千圓にして其他の下婢十數人は何れも毎月十五圓より二十圓までの給料を受くるといふゴールド夫人は毎日二時間づゝをその幼兒と共に消し幼兒は唯夫人より敎育を受くるのみなり夫人は數年前よりニユーヨーク街の通四十二丁目のプレスビテリヤン敎會に入會せし以來は宗敎上の惠與を施せしこと少なからず又チリー孃は有名なるリード夫人の女學校を卒業し今ハ音樂の研究中なるが一回の授業料ハ二十圓づゝにて孃は衣裳料として定費用の外一年五千圓の雜費金を得るといふ(本年八月七日時事新報)

○演劇改良會　古來より我國の演劇ハ猥褻野鄙にして淑女紳士の面前に於て演すべきものに非ず況んや年少の婦女子をして是れを觀せしむるが爲め數多の弊害を釀もせし事吾人の深く悲むところなりしが此度井上馨森有禮澁澤榮一末松謙澄の諸君發起會員となられ演劇改良會なるものを設立ありて多くの弊害を矯正するに盡力せらるゝ由今其會の目的とすべき條々を左に揭ぐべし

第一　從來演劇ノ陋習ヲ改良シ好演劇ヲ實際ニ出サシムルヿ

第二　演劇脚本ノ著作ヲシテ榮譽アル業タラシムルヿ

第三　構造完全ニシテ演劇其他音樂會唱歌會等ノ用ニ供スベキ一演技場ヲ構造スルヿ

○越後長岡女子親睦會　當地の牧野キヨ子は此度東京女子師範學校を卒業して當地へ歸省したるに付き友人赤川トメ田中チユキ小金井イク三名の發起にて去る三日午後當地三芳樓に於て女子親睦會を開きたるに出席者三十七八名にして何れも皆小學校等に於いて多少の敎育を受けたる女子のみなりし席上祝文を讀者あり演説する者あり又餘興には琴、月琴、尺八等の催しもありて女子の集會にハ珍敷き盛會なりしと尤も此事に付ては田中春回、長尾平藏、鶴見保四郎(何も學校敎員)三氏が後見となりて萬事幹旋したる由(本年八月十一日時事新報)

○裁縫術の敎育家　宮城縣仙臺區の私立松操學校の校長朴澤三代治氏ハ温厚篤實の人にして裁縫術の改良に熱心し敎授用の掛圖其他を內國勸業博覽會及び宮城博覽會に出品して褒賞を得また米國勸業博覽會へも生徒の裁縫せしもの數十個を出品せし程にて先きにハ文部省より敎育上勤勞の賞として康熙

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

字典其外硯箱等を賜わり其後裁縫教授書（全五卷のうち一卷ハ出版他ハ近刻）を發兌したるに去月七日文部省訓令第七號を以て同氏の教授書を當分尋常師範學校の教科書に充べしと達せられたり其書に據れバ中等科第六級より高等科卒業に至るまで木綿切三尺のもの二ツ同く袖口切二ツ外に木綿二反を用意すれバ日本在來の仕立物ハ殘らず覺え其のうへ洋服の仕立方までを卒業する工夫にて東京へ分校を設立の爲め今度上京し京橋區南紺屋町の小川方に逗留中なるが府下にても氏に隨ひ仙臺に下り修業したしと申込める婦人數名ありと

（本年八月十一日朝野新聞）

○編物會　牛込メソヂスト教會にては是まで每水曜日に女教師ガードチル氏が婦人等に編物を教へ傍ら聖書の説明及び勸話などをなし居られしが此度同氏は暫時他行せらるゝに付其間は檜山さき姉が代りて其を擔當せらるゝ由

○教事彙報　函館遺愛女學校教師ミス、ハンプトン及びグリーン夫人の二氏傳道の爲め札幌及び小樽へ趣かる亦同校に寄留の眞瀨雪枝氏ハ仙臺へ米國婦人の通辨として傍ら婦人信徒の爲め働かるゝよし青山女學校のミッセス、スペンサー氏ハ函館へ趣かるレビット夫人は去月廿五日着港せられしが直に避暑の爲め叡山へ登らるゝとのことにて俄かに翌二十六日午後八時より神戸教會堂に於て渡邊常子の通辨にて禁酒會の成立並に組織を演ぜられ又夫より世界の墮落と云ふ題にて伊勢時雄氏の通辨にて演述せられたり

○女子傳道學校の今井みね子ハ武州行田傳道に從事さるゝ由

○婦人矯風會　は去る七日明治女學校に於て規則を議し入會の手續きを定められたる由規則其他ハ請ふて本誌に掲ぐ可し

○神戸英和女學校　にてハ去る六月廿九日に第十一年期卒業式を執行せられ卒業の生徒は交る〴〵英和の作文を讀み伊勢時雄氏は右生徒への演説ありてアッキンソン氏卒業證書を授與せられたり同日は同縣大書記官學務課長其他内外の紳士も臨場せられ參觀人は凡そ二百六十名にて甚だ盛會なりし由又同校現在の生徒は百餘名にして今回は第四回の卒業式ありと云ふ

○音樂士レメンニー氏　は歐州に於て目下第一の妙手との聞へ高き人なるが就中バイオリンハ最も氏の得意とする所のよし此度東遊の序を以て我が國に來られ去る十日鹿鳴館に於て絶技なるバイオリンをリュクストーン氏の洋琴と合奏されしよし亦た同日午後三時宮中にをいて同氏の音樂を　聞召され

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

しよし我國に於ても婦女子をして野鄙なる樂器猥褻なる唱歌を學バしむるなく速く優美高尚なるの樂曲を以て是れよかへられん事ぞ望ましけれ

○殘虐なる兇賊　今より二ヶ月計り前のことゝか一隊の兇賊が亞米利加土人の打扮にてヨーカタン國（中央亞米利加の一國）の都府メリダの近傍なるピートと云へる小都府に來りたる折節旅役者が芝居を催し都府の上等人民は見物に出掛け居たりければ右の兇賊は此芝居場を取圍み手分をなして場中に踏込み見物人の金錢衣服を掠奪し又舞臺に飛上り着替室に亂入し役者藝人の衣服を盜取り遂に美麗なる首座の藝人ルイズ婦人と其同曲者なる二人の娘を引擔ぎて迯去りたり此騷動の際ルイズ婦人の悴なる十四歲の少年は母を保護せんとて殺害されたるが翌日に至り右兇賊は八百磅の身請金を出すに於ては前日引致したる婦人を戻すべき旨をピートへ申來りたるにぞピートは直に此身請金を募集して漸く三人の婦人を身請したりといふ

○レセップ夫人の財產　有名なるスエス運河の開鑿者なるレセップ氏の夫人ハ良人と共に巴里のモンタイス街道ニ住まわるゝが同夫人の財產は百五十萬弗の大金なりと

廣告

女生徒募集

當校生徒欠員に付 十名限り募集 候間十才以上にして志願の方ハ來る八月二十五日迄に申込われ

但秋期入學試驗ハ來る九月一日二日を以て執行す規則書一覽御望の方へハ回送すべし

横濱山手百七十八番　フエリス英和女學校

●本校前きに大に校舍を增築したるも猶未た來學貴女の望に應する能はず依て本年暑中休暇を機とし復た教場寄宿舍を增築し來九月十日より更に寄宿生百名通學生五十名入學を許す寄宿生中其望に依り西洋室内の整理衣服飲食製裁賓客の待遇其外西洋風習の實務を修業せしむ但規則書御望の方は郵稅二錢御遣しあるべし

麻布東鳥居坂町　東洋英和女學校

●女生徒募集廣告

當校ハ此迄教場手狹にて衆多の來學貴孃を辭謝せしか來九月一日より九段坂下陸軍御用地内元統計學校にて授業いに付有志の貴孃八月廿五日迄御申込あれ

但し規則書御望の御方ハ御通知次第直ちに廻送すべし

麹町區飯田町壹丁目七番地　明治女學校

Digitized by Google　Original from CORNELL UNIVERSITY

每月刊行 **六合雜誌** 第六十七號 七月卅一日發兌●一部郵税共十錢

○目次●ウイクトルヒウゴ氏の宗教思想○宗教的眞理の性質利巳主義の道德論●學術、心理學講義●雜錄。宗教と自由の說。人の爲し得ざる神のなし得る處あり

一册定價金拾錢、半ヶ月(六册)前金五拾五錢、一ヶ年(拾二册)同金壹圓但し郵便税を要せず

基督教新聞 八月十一日發兌 一部代價金三錢

○社說(若し善くば何ぞ我を打や)○敎報○雜錄(茅屋一夕話)山海に遊びて感あり)(人の知る可き所は神之を明示せり)(今樣二首)○寄書(傳道の振はざる其源因如何)○雜報○英文繙譯○廣告○

京橋區瀧山町六番地 警醒社

東京輿論新誌 第二百五十一號 八月十一日發兌

(社說)英國新內閣組織成ル(論說)演劇改良會員諸君ニ質ス、一夫一婦ハ人ノ大倫ナリ第六、婦ハ夫ニ對スルノ婦ナリ、波多野傳三郎、抗論トハ果シテ如何ナル者ヲ云フ乎(時論)東京五新聞社說ノ要旨(雜錄)虎軍岙猖獗(官令)數件雜報時事要報數件(一册金五錢每水曜日發兌)

京橋區尾張町新地七番地 嚶鳴社

中外兵談 每月二回發兌。一册十錢。郵税一錢。十册分代價及郵税共一圓。

●第一號目次●武功ハ文勳と同視す可らず○堅艦英國より至る○艦船の區別○佛國海軍大臣の海軍政畧○佛國にて甲鉄艦の利害を實地に決せんとす○露國の兵力○露士亞の陸軍○前哨規範○封爾爲日本國王○警醒格言其外十種

東京本鄕弓町一丁目廿番地(女學雜誌社隣) 中外兵談社

定價

一册。	五錢	郵税。一錢	(但府內無郵税)
十册。	四十八錢	郵税。十錢	同前
廿册。	九十錢	郵税。廿錢	同前
卅册。	一圓卅錢	郵税。卅錢	

一ヶ月分女學雜誌代價	十五錢	府外ハ十八錢
二ヶ月分同	三十錢	府外ハ三十六錢
三ヶ月分同	四十五錢	府外ハ五十四錢
半年分同	八十八錢	府外ハ一圓六錢
一年分同	一圓六十錢	府外ハ一圓九十六錢

廣告

一行	一回	(廿八字詰)	前金拾錢
同	三回以上		一割引
同	六回以上		二割引

十行以上一割引二十行以上二割引四十行以上三割引
但し不道德なる事物の廣告ハ謝絕す有益なる事物の廣告は社議の上無代價にて引受く女學關係の書籍ハ一部の寄送を乞ひ相當の廣告をなし且つ本誌に批評す

女學雜誌賣捌所

東京神田區淡路町(大賣捌) 巖々堂

東京神田區雉子町	團々社支店
同神田區佐柄木町	東海堂
同日本橋區新葭町	眞明堂
同日本橋區馬喰町二丁目	自由堂
同京橋區木挽町壹丁目	萬字堂
同本鄕區元富士町	盛春堂
同本鄕區春木町二丁目	解明堂
同牛込區肴町	活神堂
大坂備後町四丁目	岡島支店
伊勢國松坂白粉町	家里初枝

東京芝西久保櫻川町(支局) 萬春堂

發行所 本局 東京本鄕弓町壹丁目廿番地 女學雜誌社

持主兼編輯人 巖本善治
印刷人 森田豐

Digitized by Google Original from CORNELL UNIVERSITY

Digitized by Google
Original from
CORNELL UNIVERSITY